広報
ふかうら
1月号 2019 No.166



新年の無病息災を願う

寒風が吹きつける中、岡町地区で行われた「裸参り」。締め込み姿で練り歩く男衆は、威勢のいい掛け声で新年の無病息災を願いました。

新春のあいさつ

深浦町長　吉田　満

平成31年の輝かしい新春を迎え、町民の皆様に、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

町民の皆様には、平素から町政運営の各般にわたり、深い御理解と御協力、御支援を賜り、誠にありがとうございます。

２０１９年の年頭に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

昨年は、西日本豪雨、大型の台風、北海道胆振東部地震による自然災害など、国内においては甚大な被害が発生した年でありました。

特に台風21号は、当町の９月としては過去最高の最大瞬間風速41メートルを観測し、町内の全域で倒木や建物等への被害を及ぼしました。

さて、我が国の経済は、緩やかな回復基調が続いていると言われておりますが、地方では、依然として回復の実感に乏しい状況が続いております。

政府は、昨年10月に発足した第４次安部晋三内閣が「復興・国土強靭化の推進」、「頑張った人が報われる経済成長」、「全ての世代が安心できる社会保障改革」、「美しく伝統ある故郷（ふるさと）を守り、次世代へ引き渡す」、「新しい時代のアジア太平洋の平和と繁栄の礎を築く」の５本柱を掲げ、実現に向け取り組むようでございます。

当町の財政状況につきましては、平成29年度一般会計決算において、10年連続で黒字決算となったところでありますが、一方では町の歳入の半分以上を占める地方交付税は、平成27年度から段階的に削減されており、平成31年度においても相当額の減額があるものと予想されることから、更なる行財政改革に努め、引続き財政健全化を目指して参ります。

平成31年度予算編成につきましては、厳しい社会情勢を十分認識しながら、深浦町第二次総合計画に掲げた町の将来像や総合戦略に掲げた基本目標の実現を図るため、選択と集中により政策的経費を確保し、「生きがいと活力のある町づくり」に取組んで参ります。

さて、このような社会情勢下における深浦町の基幹産業でございますが、まず農業につきましては、昨年から米の直接支払交付金が廃止されるとともに、行政による生産数量目標の配分も廃止され、過剰作付けへの抑止力が低下し、米価の下落が懸念されるため、青森県農業再生協議会において、独自に生産数量目標を設定し、生産者に情報提供をすることとしております。

漁業につきましては、漁港・漁場等の環境保全に努めるとともに、天然資源依存型の漁業から栽培漁業・資源管理型漁業への積極的な展開を図ります。

また、サーモン養殖事業については、昨年９月１日をもって、区画漁業権免許を取得し、11月から本格的な海面養殖事業がスタートしました。

今後、サーモン養殖事業の推進が、更なる地域経済の発展に結びつくよう努めて参ります。

観光面では、昨年５月、仙



台市の楽天生命パーク宮城で行われた「プロ野球・楽天イーグルス対ソフトバンクホークス」の1軍公式戦に県内自治体では初となる冠協賛をし、「白神山地とマグロの町・深浦町ナイター」と題した大々的な町のプロモーションにより、深浦の魅力を強力に発信しました。

昨年7月には、春光山圓覚寺の三十三年に一度の本尊御開帳が執り行われ、県内外から多くの参拝客が訪れました。また、マグロステーキ丼についても昨年10月には20万食を達成するなど、当町に大きな経済波及効果をもたらしております。

更に、7回目となる北金ヶ沢の大イチョウのライトアップ「ビッグイエロー」では、点灯式がメディアに取上げられるとともに、ライトアップ期間中、ＪＲ東日本では、リゾート「しらかみ号」を徐行運転し、乗客の皆様に観覧サービスを提供しました。また、インターネット「ヤフー」に取り上げられたこともあり、県内外からたくさんの観光客が訪れております。

これらの事業を継続しながら、引続き地域経済の活性化につなげて行きたいと考えるところであります。

次に、町の保健・医療・福祉関係につきましては、昨年6月から広戸地区に深浦診療所を開設いたしました。

また、本年4月、隣接地に新たな深浦町保健センターも整備されることから、在宅医療の充実が図られるとともに、総合的な地域医療体制が確立されることになります。

次に、教育関係でありますが、児童・生徒が一人ひとりの個性と能力を伸ばし、生きる力と豊かな人間性の形成につながるよう、豊かな心を育てる学校教育の充実を図ります。

また、社会教育におきましては、白神山地と日本海という豊かな自然や歴史・文化を最大限活用し、生涯学習の推進、スポーツ活動の振興が図られるよう各種事業を実施して参ります。

最後に、本年4月30日に天皇陛下が退位され、5月1日に皇太子さまが即位され、新しい元号に変わるなど新たな時代の幕開けとなります。この大きな節目を機に更なる深浦町の明るい未来を切り開くため全力を尽くして参りますので、町民の皆様には、なお一層の御支援・御協力をお願い申し上げる次第であります。

結びに当たり、本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますことをお祈り申し上げ年頭のあいさつといたします。

年頭の御挨拶

深浦町議会　議長　工藤博利

明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお喜びを申し上げます。また、旧年中は町議会に対し格別の御支援と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

平成30年は、平昌五輪の日本代表選手の活躍を皮切りに、テニス界の大坂なおみ選手の全米オープン制覇や、水泳、バドミントン、サッカー、卓球など、スポーツ界におけるアスリートの華々しい活躍が報じられる一方で、森・加計問題に端を発した省庁の不祥事や東京医大不正入試、川金HDやスバル自動車による免振データ・燃費データの改ざん等々、大学や企業の不正・不祥事が多発し、産学官に対する国民の信頼が大きく揺らいだ一年であったように思います。

加えて、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、そして、記憶に新しい9月6日の北海道胆振東部地震と自然災害が全国で相次ぎ、総じて厳しい一年であったと実感しているところであります。

不幸にも亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様には、心からのお見舞いを申し上げたいと思います。

さて、このような国内情勢の中にあって、当町においては、吉田町長が推し進める諸施策が順調に進展し、深浦診療所の開業、北金ヶ沢総合防災センターの完成のほか、間近となった深浦町保健センターの竣工や大戸瀬支所の移転開業等、多数の具体的成果が現れ、非常に喜ばしく感じているところであります。

しかしながら、少子化対策、雇用の創出、産業振興対策等々、解決に向けて急施を要する課題も少なからず顕在していると認識するところであり、我々町議会といたしましても、町執行部との立場や権能の違いを踏まえ、町政との緊張ある関係を保ちながら、活発な議論を重ね、積極的に提言や提案を行い、町民の声を行政に届け、皆さまの福祉の増進や地域の発展に寄与し得る議会活動を展開していかなければならないと、気を引き締めているところであります。

今年は、十二支の殿（しんがり）、締め括りとなる亥年であり、元号が改まる国家的な節目の年でもあります。

少子高齢化・人口減少という課題を抱える当町においても、町民の皆様が将来への希望や生きがいを持ち、精神的な豊かさや生活の質の向上、人と人の絆を実感できる地域社会の構築に向け、力を結集し、干支の「亥」にあやかって、力強く前進する「元年」にしたいものであります。

町民の皆様には、引き続きの御支援、御鞭撻をよろしくお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって実り多き年となりますことを御祈念申し上げ、年頭の御挨拶といたします。





2018年　まちの出来事

1月

4日　新春町民放談の集い
5日　消防団出初式
23日　サーモンフォーラム2018開催

2月

6日　深浦町文化賞・スポーツ賞表彰式
18日　芸能発表会

3月

26日　防災センター（北金ヶ沢地区）完成

4月

18日　白神十二湖山開き安全祈願祭
21日　沿道美化清掃
24日　海の駅ふかうら
「深浦まるごと市場」オープン
25日　深浦交番岡崎地区へ移転

5月

14日　養殖サーモン初水揚げ
15日　楽天公式戦ナイター
県内自治体初の冠協賛
25日　深浦町防災訓練
30日　深浦診療所開所式

6月

14日　マグステ丼デビュー5周年
記念フォーラム開催
21日　町民総決起大会
23日　つがる日本海お魚大漁まつり
30日　深浦会東京総会・交流会

7月

17日　33年ぶりに円覚寺本尊御開帳
（～31日）

8月

14日　津軽風待ち湊ふかうらヤットセ
（～15日）
14日　深浦町成人式
16日　深浦町平和祈念祭
27日　深浦診療所所長として
吉岡秀樹医師着任

9月

6日　生きいき健康福祉祭
14日　十二湖ウッドチップ敷設

10月

17日　マグステ丼20万食突破
19日　町で鳥獣被害対策全国大会開催
20日　チャンチャンと深浦牛まつり
（～21日）

11月

3日　深浦町文化祭作品展
（～4日、10日～11日）
7日　「ふかうら雪人参」標章登録
7日　ビッグイエロー2018（～12月2日）
17日　ふかうら芸能祭

今後どうなる？私たちの町

～まちづくり懇談会（岩崎地区）～

地域住民から様々な意見・提案を伺う〝まちづくり懇談会〟が12月4日、岩崎ふれあいと創造の館で行われました。

この懇談会は、地域住民に町政の現状と主な取組を紹介しながら、地域が抱える課題等を伺い、これからの町の施策や指針の参考とするために実施。今回は76人もの参加者が集いました。

岩崎地区は、**「岩崎スポーツセンターのあり方について」**と**「岩崎中学校の統廃合について」**の2つが主な課題。吉田町長をはじめ、関係課長が勢揃いする機会とあり、参加者は自分の思いをぶつけ、これからの岩崎地区のために何かできないか、積極的な意見が語られました。

今回のまちづくり懇談会で寄せられた意見・要望は、これから策定する実施計画等に反映することとしています。まちづくり懇談会で寄せられた提言等は、次のとおりです。（抜粋）

岩崎スポーツセンターのあり方について



参加者　修繕し、あと2～3年使えるようにしてもらいたい。地区から無くなるのは寂しい。

町　長　総合的な観点からみて、修繕費も解体費もかなりかかる。今の子供たちの人数等を考えた時に、どのようなスポーツ振興をやって、施設を子供たちに残していくかの議論をしたほうがいいと思う。35年経ったスポーツセンターに対する想いというのは、岩崎地区の方々はとても強い。十分わかるが、子供たちにスポーツで勇気を与えるというのは当然必要だと思うので、そのために施設をきっちり整備し、別の施設にシフトしていくという選択肢も必要な時代になってきたのではないか。



参加者　毎日スポーツセンターを利用していたが、シャワー室や雨漏り等の状況はひどいと思う。白神ジュニアの事だけを考えれば、毎日利用できる拠点が欲しい。今後の利用人数等も加味してから補修するしないを判断してほしい。

副町長　スポーツセンターは団体スポ



ーツとしては、すごくためになる施設。ずっと使っていきたい施設だが、35年経って寿命が来たなと感じている。水回りがダメだという意見もあり、もう閉鎖せざるを得ないと感じている。

白神ジュニアさんは現在、岩崎中学校を借りて練習をしていて、ちょっと照明が暗いという難点があるみたいだが、直しさえすれば有効に使えると思う。また、月曜日が使用できないと言っていたが、この会場（ふれあいと創造の館　民俗芸能体験学習の間）を使わせてもらえばいいと思うし、岩崎支所の2階も空いているため、使用してもいいのではないかと思う。

参加者　大規模改修の費用と解体の費用をきちんと出して比較してもらいたい。スポーツセンターがなくなると、避難場所が一つなくなるのではないか。

担当課　一時的な改修費用は3、430万円、解体費用はおよそ5、630万円かかる。

※その後の詳細な調査で、建築基準法等の法令を満たす改修を実施するためには、概算費用で約2億円を要することが明らかになりました。

町　長　スポーツセンターは、浸水区域となっており、大規模改修を行ったとしても避難する場所ではない。新しい施設を高台にきちんと建てたほうが安全だし、子供たちのためになるかと思う。

副町長　岩崎支所が災害時の避難場所としていいのでは。岩崎支所は震度7にも耐えられる立派な施設。岩崎支所の玄関に太さ1メートルほどの鉄柱があり、それが耐えてくれている。

参加者　学校の体育館を開放してほしい。土日も使えるものか。

担当課　学校と協議しながら、可能な限り開放したいと思っている。



海側（中央部分）の屋根外壁及び軒天の破損

参加者　屋根の構造を変更し、修繕すればいいのではないか。

担当課　一般的には可能。まだ予算化をしていないため、皆さんの意見を聞いて検討させていただきたい。

参加者　結果を急いでいるのか。何回も懇談会を開催してほしい。

町　長　来年の5月に、黙っていても子供剣道大会がスポーツセンターで開催される。私の判断で使用できないとなれば、使用させることはできない。大きな大会を開催し、いざ何かあった時に、誰が責任を取るのか。県内外から来る選手への対応が不十分すぎる。子供剣道大会の主催者が責任を取るのかという問題が始まってしまう。その判断は、町長がしないといけない。また、町ではスポーツセンターに保険をかけて建物を維持してきたが、現在は保険の対象にすら該当しなくなってきている。苦渋の決断だが、使用は私の判断である。

また、懇談会のほうは地域バランスを考えながら検討していきたいと思う。



岩崎中学校の体育館で練習する白神ジュニア



ふれあいと創造の館2階（民俗芸能体験の間）

岩崎中学校の統廃合について

参加者　いつ頃、統廃合を目指しているのか。

担当課　統合の目途については、3地区の意見を聞いて総合的に判断したうえで、早めに対応していきたいと考えている。

参加者　スクールバスの時間のシミュレーションをアンケートに入れてほしい。

担当課　前回のアンケートでは、統合に反対する保護者の多くが、通学等に不安があったようである。今回のアンケートには、スクールバスの時間のシミュレーションも付け加え、説明を十分にしていきたいと考えている。

　具体的には、中学校の岩崎方面のバスを2台体制として、遠い地区と近い地区の2地区からバスを出発することを検討している。





　また、文科省の指針として通学バスの時間は1時間程度までは無理はないと考えられている。大間越方面から1時間程度で行けるようなシミュレーションを考えていきたいと思う。

参加者　野球など部活のことを考えると、今の他校4校合同チームよりも学校統合して1チームとしてやっていただきたいが、何もかも無くなるのは寂しい。

　また、大間越板貝地区から来年度小学生が入るので、きちんとした筋道を立ててからの統合でもいいのではないか。

担当課　これからのグローバルな世界に目を向けていかなければならない時期に、子ども達にとっての一番良い環境は何なのか。現在の人数の少ない環境は、子ども達が育つためにいい環境なのか、それよりも少しでも多い人数で社会性を育て、これからを生きていく力を育てる方が良い環境なのか。どちらもいい点があるが、いずれかを選択していかなければならない。保護者の皆さんとしては、心配も多々あるかと思うが、より良い子ども達の学習環境を作っていくために、提案させていただいている。

参加者　小泊地区では小中併置校として平成32年度から実施予定である。アンケートには、その小中併置校や一貫校の概要及び学校統合のメリットやデメリットも入れて、また、統合による財政的なことも明記すべきである。

担当者　小中一貫校については、小学校と中学校のギャップをいかに解消するかと言うことである。現在、3地区の小中学校は、ギャップはほとんどない。むしろ人間関係が小学校という小さい社会の中で固定化され、そこから世の中に出ていった時が一番の問題となる。中学校になった時、色々な人と交流をしていくということが、深浦の生徒にとっては一番重要である。これらのことからも、小中一貫校は、深浦地域においては現実的ではないと考える。

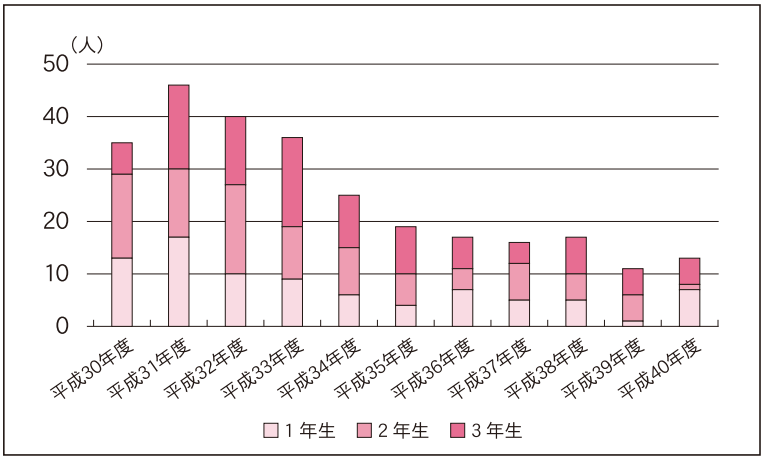


参加者　以前のアンケートは、自分が対象となっておらず詳しい内容までは分からないので、小学校と中学校にいる保護者だけへのアンケート調査だけではなく、結婚したばかりの人や妊婦、保育園児の保護者まで範囲を広げたほうがいいと思う。

担当課　アンケートの対象については、先日の総合教育会議でも話題になった。これからいわさき小学校へ入学するお子さんの保護者の方にもアンケートはとるべきだと意見があったので、アンケートの対象を広げることを検討したい。

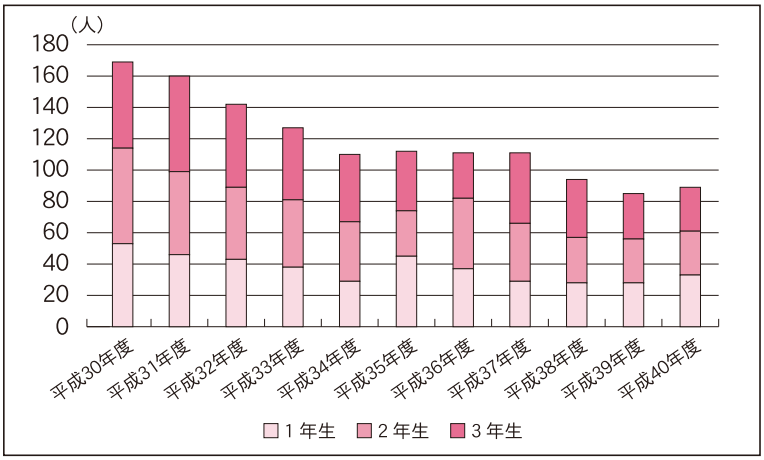
(1)岩崎中学校生徒数の推移

年　度	1年生	2年生	3年生	計
平成30年度	13	16	6	35
平成31年度	17	13	16	46
平成32年度	10	17	13	40
平成33年度	9	10	17	36
平成34年度	6	9	10	25
平成35年度	4	6	9	19
平成36年度	7	4	6	17
平成37年度	5	7	4	16
平成38年度	5	5	7	17
平成39年度	1	5	5	11
平成40年度	7	1	5	13



(2)岩崎中学校と深浦中学校と大戸瀬中学校の3校が統合した場合の生徒数の推移

年　度	3校(岩中・深中・大中)が統合した場合の生徒数の推移			
	1年生	2年生	3年生	計
平成30年度	53	61	55	169
平成31年度	46	53	61	160
平成32年度	43	46	53	142
平成33年度	38	43	46	127
平成34年度	29	38	43	110
平成35年度	45	29	38	112
平成36年度	37	45	29	111
平成37年度	29	37	45	111
平成38年度	28	29	37	94
平成39年度	28	28	29	85
平成40年度	33	28	28	89





地域の人たちと取り組む活動が多い岩崎中学校は、地域のため積極的な活動を行っている

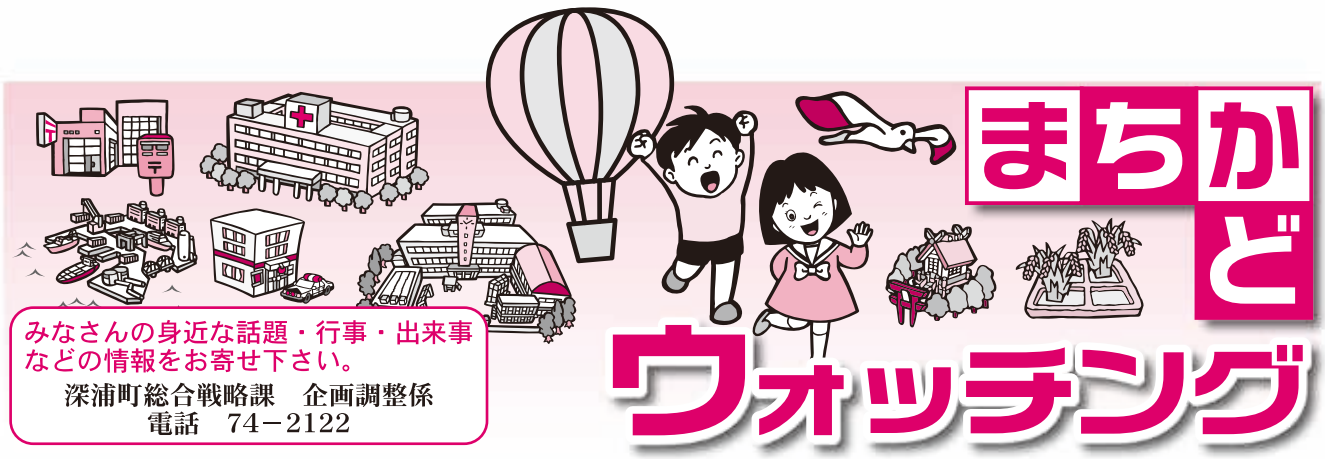
【その他】

参加者　食育の観点から学校給食を無償化できないか。

町　長　無償化はできないものと考える。津軽と南部では、格差があり、南部は給食費、保育費、医療費まで全部無料である。南部には、米軍基地があったり、原燃があったりと財源が豊富なので、無償化ができる。高校生までの医療費無料等の深浦町では、子育て支援に財源を使っている。現在の状況の中では、学校給食の無償化はなかなか出来ないものと考える。これらの状況も踏まえ、優先順位は、スポーツセンターをどうするのか、岩崎中学校の統合をどうするのか。そちらのほうにまだ目が行き届くものと感じる。

これらの他、婚活事業や災害時の避難する迂回路の整備、空き家問題等への意見が寄せられました。

また、1月28日(月)に大戸瀬地区、1月29日(火)に深浦地区で中学校の統合をメインに「まちづくり懇談会」を開催する予定です。皆さんの声を、町政にお聞かせください。



まちかどウォッチング

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。
深浦町総合戦略課　企画調整係
電話　74−2122

楽しく運動不足を解消！

9/26~12/12

町地域包括ケアセンターが、住民の日頃の運動不足を解消し、心身の健康づくりを進めようと「運動不足解消プログラム」を開催しました。

プログラムは、北金ヶ沢防災センターを会場に、９月26日から１２回シリーズで、エアロビクス・ストレッチ・筋トレ・ヨガなど多彩なメニューなどが12月12日まで行われました。

なかでも、エアロビクスは、体験程度のエアロビクスをやったことはあっても、曲に合わせてしっかり踊る機会は少ないため、皆さん笑顔で楽しんで体を動かしていました。





女性の健康づくり推進！

11/22

新深浦町漁業協同組合女性部と町地域包括ケアセンターが共催で、女性限定の健康づくり講座を深浦町農村環境改善センターで行いました。今回のテーマは、多くの女性が悩まされる「腰痛」。

講師の指導のもと、筋トレやストレッチを実際に行うと、最初は硬かった体が、徐々に柔らかくなり、多くの参加者が運動の効果を実感していました。

※町地域包括ケアセンターでは、住民の皆さんから「友達同士で集まるので運動を教えてほしい」「地区の集まりで健康に関する講話や運動指導してくれる先生を紹介してほしい」などのご要望があれば、できる限り対応しています。お気軽にご相談ください。



大きく育った自然薯 約１,０００本

11/30

町内７農家で取り組んでいる自然薯の箱詰・出荷作業が、大館地区野菜集出荷施設で行われました。

この日は、会員７人が朝から作業を開始し約１，０００本を箱詰め。今年は天気の影響などにより例年にない豊作で、特大サイズで真っすぐ伸びた自然薯になりました。

箱詰めされた自然薯は弘前中央青果（株）等へ出荷されました。



大きな自然薯を慎重に扱います



モモちゃんだーいすき！

子どもたちにクリスマスプレゼント

12/17

クリスマス恒例のゆるキャラによる町内保育園特別訪問が、１２月中旬から下旬にかけて行われました。

このうち、１７日には、ウェスパ椿山の「ビートルくん」、「モモちゃん」がめぐみ子ども園を訪問。元気な子どもたちはゆるキャラに質問をしたり、キャラクターに抱き着くなど交流を楽しみました。

キャラクターから一足早いプレゼントを受け取った園児たちは、あふれる笑顔で「ありがとうございます」とお礼を伝えていました。



ゆるキャラに会えて子供たちは元気いっぱい！

集団予防接種によりB型肝炎ウイルスに持続感染された方へ 一人で悩まずに無料電話相談をご利用ください

B型肝炎訴訟（給付金請求）について 無料電話相談

対象者 昭和16年7月2日～昭和63年1月27日生まれ ※ご遺族の方も給付金請求できます

給付金 50万円～3,600万円 ※病態に応じて給付等の内容が異なります

弁護士費用 着手金・相談料 無料 成功報酬制 ※訴訟実費別途

完全予約制☎ 0120-013-621 〈ご予約受付時間〉平日 9:00~18:00

実績 相談件数3,800件以上 給付金受領済み800件以上

弁護士法人弁護士 饗庭亨一「あいば こういち」東京弁護士会所属 登録番号35029
プレシャス総合法律会計事務所

東京都新宿区四谷4-3 福屋ビル6-A【営業時間】平日 9:00~18:00
□TEL 03-5363-6333 □FAX 03-5363-6334 □E-mail:info@precious-law.jp □http://precious-law.jp/

年末の風物詩「サイギ、サイギ」響き渡る

12/17

年末の恒例行事である「裸参り」が町内各地で行われ、「サイギ、サイギ」と威勢のいい掛け声を響かせた男衆が、新年の五穀豊穣や豊漁、無病息災を祈願しました。

このうち、１７日には崎の町地区で実施。例年になく穏やかな天候に恵まれた中、３０人の男衆が円覚寺を目指して町内を練り歩き、しめ縄を奉納しました。

また、同日に行われた舟作地区の裸参りには、１４人が参加。月夜見神社を参拝し、その後伝統芸能である餅つき踊りを披露しました。

その他、２４日には岡町地区で３０日には岩崎地区で裸参りが行われ、男衆の声が聞こえてくると、一目見ようと沿道に地域住民が集まり、地域に根付く伝統文化を見守っていました。



円覚寺に奉納する（崎の町）



寒さをこらえながら歩く男衆（岡町）



ボールを操る古川さん（右）



町長へ抱負を語りました

いざ全国大会へ～フットサル競技～

12/20

この度、大戸瀬中３年の古川大夢さんが所属するＦＣトゥリオーニU-１５（五所川原市）が、フットサル東北大会を制し、見事全国大会への切符を手にし、吉田町長へ報告に訪れました。

古川さんは、主力選手として８月に開催された青森県大会と１１月に開催された東北大会のほとんどの試合に出場し、持ち前の運動量と攻撃力を発揮し、勝利に貢献しました。

東北大会決勝戦では、岩手県の第１代表と対戦し、６－５の接戦を勝ち取りました。

全国大会（ＪＦＡ第２４回全日本U-１５フットサル選手権大会）は１月１２日から三重県で開催され、全国の強豪１６チームで争われます。

みんなに囲まれ１００歳を祝う

12/20

小野きよ江さん（北金１区）が１００歳の誕生日を迎え、町から顕彰状と祝い金、花束が贈られました。

小野さんは１９１８（大正７）年、鰺ヶ沢町赤石生まれ。夫傳次郎さんと結婚し子ども３人、孫９人、ひ孫１６人に恵まれました。

長生きの秘訣については、健康に気をつかい、好き嫌いなく何でも食べることだということです。

しらかみの里で贈呈式が行われ、家族や施設のスタッフがきよ江さんを囲み祝福していました。



小野きよ江さん

ふかうらのいいものに4品目認定

12/20

町特産品認定交付式が行われ、大船海産株式会社（大船千恵子代表）の「えご」、坂崎香織さんの「ふかうら雪人参ケーキ」、青山章さんの「クロモジ芳香蒸留水」、有限会社マルワ水産（平尾和幸代表）の「白神もずく」が町の特産品認定証の交付を受けました。今回、初めて認定を受けた坂崎香織さん（風合瀬）は、「深浦町のお土産品としてたくさん購入していただけるように、これからも継続して作っていきたい」と、気持ちを新たにしていました。この特産品認定制度は、農林水産物を原料として製造、または加工した食料品及び飲料品（酒類含む）並びに工芸品からなる「名産品部門」と、農畜林水産物の一次産品からなる「特産物部門」があり、いずれも町特産品選定委員会の審査による答申結果を踏まえて町長が認定するものです。名産品部門に4品目が追加されたことにより、認定品は全部で５２品目となりました。



（左から）米谷観光課長、（有）マルワ水産、青山章氏、大船海産（株）、坂崎香織氏、吉田町長

全国社会福祉協議会長表彰を受賞

12/21

このたび、東京都で開催された全国社会福祉大会において、堀内カツさんが全国社会福祉協議会会長表彰を受賞しました。

堀内さんは、平成元年１２月１日、民生児童委員として委嘱されて以来、現在１０期目。２９年にわたり、地域住民の身近な存在として、相談援助はもとより、地域福祉の発展向上のため、活動してきました。特に、町村合併後の平成１９年１２月からは、深浦町民生児童委員協議会会長として、民児協の組織運営発展に尽力してきたほか、町の各種委員に就任し、住民の代弁者としての意見を述べるなど福祉行政へのパイプ役として活動してきました。また、町社協理事の就任や日赤奉仕団活動、ボランティア活動等にも積極的に参加してきたこれまでの功績が認められました。



堀内カツさん

大切な御縁をいただいたお客様に ～ありがとう～ と言われる仕事を心掛けています。

家族葬から一般葬・社葬まで
ご予算に応じた御葬儀を
提案・施工いたします。

ご用命は
任せて安心の

厚生労働省認定
１級葬祭ディレクター在籍店

株式会社 深浦葬祭
Fukaura Funeral Service

電話（７４）４５３６

従業員募集中

FAX:74-4546

病院・施設等からの搬送は安心の緑ナンバー車で！
「一般貨物自動車運送事業（霊柩）第４９７号」
365日・24時間受け付けております。

子ども虐待を防止するために（後編）

乳幼児の虐待を、『めったにない特別な出来事』ととらえていませんか？

乳幼児の子育てを経験した親の中には、『虐待がおきるかどうかは紙一重でどの家庭にでもおこりうることだ』と感じている方も増えてきました。

子どもへの虐待の理由は様々で、とても複雑です。虐待が発生してしまう前に、どこかに『話せる場』や『話せる人』がいれば、紙一重の所でとどまることができるかもしれません。

【子育てのこと、ひとりで抱え込まないで・・・】

＊みんなで子育てを＊



今の母親は「がまんが足りない」という人もいますが、母親が子どもを怒鳴ったり、叩いたりするのは、昔からありました。

昔と大きく違うのは、核家族が多くなり、子育てが「親だけ」になってきたことです。

母親なんだから子育てするのは当たり前と思われがちで、頑張っていてもあまりほめられることがないお母さん。

そんなお母さんが笑顔で子育てするためには、「ありがとう」の感謝の言葉が何よりも励みになります。

子育ての秘訣は、夫婦や家族がお互いを思いやる気持ちを持ち、理解しあうことかもしれません。



＊ひとりぼっちにならないで・・・＊

ひとりで子育てするのはとても大変な事です。

腹が立ったり、泣きたくなったり、どうしてよいかわからなくなったり・・・。そんなときは一人にならないでください。

人に不安・悩みを話すことは恥ずかしいことではありません。

不安な気持ちを分かってくれる人、悩みを共感してくれる人は必ずいます。

【相談機関】

	相談内容	相談時間	電話番号
地域包括ケアセンター	健康・発達面、育児、しつけ等	月～金曜日 8：15～17：00	76-2042
深浦町役場福祉課	保育園、ひとり親家庭、等		74-2111
子育て支援センター ほほえみ	親子の交流	火・木 9:30～11:30	76-2039
	子育て相談	月～金 9:00～17:00	

【問い合わせ先】　地域包括ケアセンター　TEL ７６－２０４２

深浦町食生活改善推進員会の 地産地消レシピ

「風邪をひきやすい季節、大根を食べて免疫力を高めましょう!!」

冬大根は、大根おろし・サラダ・酢の物にしてもよし、おでんなどの煮物にしてもよし、お鍋の時には大根おろしでみぞれ鍋にしてもよし、漬物は冬にかかせないものです。

さらに、大根はビタミン類が豊富で、美肌にも風邪予防にもうってつけの野菜です。生で食べる大根おろしが胃もたれや胸焼けなどの胃酸過多症状に効くというのは、大根に含まれる消化酵素の働きによるものです。また、昔から「大根の汁にはのどの炎症や咳に効く」と「はちみつ大根」が親しまれているように、大根が持つ抗菌作用とはちみつが持つ殺菌作用で、咳を鎮めてウイルスを撃退し、のどを潤し、痰を排出するする作用で、のどがスッキリすると言われています。

また、大根の葉にはβ-カロテン・カルシウム・ビタミンC・ビタミンK・葉酸・鉄が豊富に含まれ、ビタミンCや鉄は根より多く含まれています。いつも捨てている大根の葉は、茹でて冷凍保存して味噌汁に入れたり、昔からの保存食の「干し菜」にしてふりかけにして食べたり、捨てずに葉物が高価なこの時期の栄養補給に役立てましょう。

≪はちみつ大根≫

●材　　料（2～3日分）
大根　100g、はちみつ　50g

●作 り 方
①生の大根を1cm角切りにし、瓶やタッパーなどの清潔な保存容器に入れはちみつを加える。
②蓋をして、常温で2時間～半日ほどおく、大根を取り出して完成。
③はちみつ大根シロップは、そのまま飲むか、水、お湯、紅茶わり等にして飲む。

●ポイント
日持ちがしないため、2～3日で飲み切る程度で作りましょう。
取り出した大根は、酢の物やサラダなどにして食べましょう。

※注意　1歳未満の赤ちゃんには“絶対”食べさせないでください。
はちみつに含まれるボツリヌス菌によって、ボツリヌス症という病気をひきおこすリスクがあります。はちみつを食べた赤ちゃんがボツリヌス菌により、死亡したというニュースもありました。

≪里芋と菊の大根おろし和え≫

●材　　料（2人分）
ゆで黄菊　50g、大根おろし　50g、A（酢　大さじ2、砂糖　20g、塩　小さじ1/4）
里芋　100g、B（醤油　小さじ1/2、みりん　小さじ1/2、だし汁　100ml）

●作 り 方
①ボウルによく絞ったゆで菊と大根おろしをほぐし入れ、Aで味付けする。
②里芋は皮をむいて下ゆでしてから水洗いし、鍋に入れてBで煮る。
③冷めた里芋を水切りし、①のボウルに加えて和える。

●ポイント
里芋の煮物があり、大根おろしが残った場合に、さっと作ることのできるメニューです。
里芋を入れずに、①の酢の物として食べても良いでしょう。

≪大根麺のたんたん鍋≫

●材　　料（2人分）
大根　12cm、豚ひき肉　200ｇ、ごま油　大さじ2、にら　1束
水　800ml、顆粒鶏ガラスープの素　小さじ2、塩　4つまみ、こしょう　少々

●作 り 方
①大根は皮をむいて10cm長さの細目の短冊切りにして土鍋入れ、水･鶏ガラスープの素を加えて火にかける。
②フライパンにごま油をひき、豚ひき肉を炒め、火が通ったら塩・こしょう・練りごま・お好みでラー油を入れて、さっと炒める。
③土鍋の大根が軟らかくなったらにら・②・醤油を加え、にらが煮えたら出来上がり。辛口がお好みの場合は、ラー油を加えて食べる。

豆知識

「大根は部位によって味が違う？」
大根は、部位によって味が違うので、調理方法を上手に使い分けるとよりおいしく食べることができます。葉：葉物野菜のように、みそ汁や炒め物、ふりかけや煮物にお勧め。首の部分：甘くて水分が多いため、サラダ・酢の物・おろし等にお勧め。真ん中の部分：軟らかくて実がしっかりしているため、おでんやふろふきのような煮物にお勧め。下の部分：筋が多く辛味があるため、みそ汁の具や漬物、炒め物や切干し、辛いおろし等にお勧め。

ふかうら学

「町民が主役の社会教育を目指して」

「深浦町公民館・岩崎分館・大戸瀬分館」を紹介します。



【公民館サークル活動】

町民が生涯学習を身近に感じ、文化・芸術、レクリエーションなどの様々なサークル活動を気軽に楽しめるように、深浦町公民館・岩崎分館・大戸瀬分館では活動を支援しています。

【主なサークル】陶芸、編み物、パッチワーク、料理、木目込み人形、油絵、墨絵・掛軸、書道、ダンス、舞踊



【ふれあい体験教室】

深浦町公民館では、住民同士の学習や世代間交流を目的にふれあい体験教室を開催しています。

■きのこ植菌体験教室

つがる森林組合の職員等が講師となり、植菌の仕方や管理方法を学びます。

原木２本に電動ドリルで穴を開けて「種駒（シイタケ又はナメコ）」を打ち込むと、翌年の秋にはきのこが生えてきて収穫が楽しめます。

毎年２月の上旬に開催しています。



【各種教室】

深浦町公民館では、文化・芸術、技術、学力の向上をテーマとした各種教室を開催しています。

■ヨガ体験教室

親子や友達など世代間の交流を深め、インストラクターと一緒に１時間ほど体を動かすことで疲労した心と体を癒やしてくれる「ヨガ教室」を開催しています。

【主な教室】編み物、パッチワーク、木目込み人形、ヨガ、中・高校生学習支援

参加してみたい。見学してみたいという方は下記へご連絡ください。

■深浦町公民館　深浦町大字深浦字中沢１４－１

ＴＥＬ・ＦＡＸ　７４－２０３１

健康万歩計

健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんが健康で元気に過ごすための必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

今月のドクター
木　村　淳　也 先生
きむら皮ふ科院長



帯状疱疹

重要ポイント
1. 痛みが片側に出現し、皮疹がでたら帯状疱疹を疑う。
2. 帯状疱疹で一番困るのが痛み。早くきちんと治療することで、痛みが残りにくい。
3. 2016年3月に帯状疱疹の予防のためワクチン接種が可能になった。

◎帯状疱疹とは

水痘・帯状疱疹ウイルスが原因で生じる。このウイルスに初めて感染すると水痘（いわゆる水ぼうそう）です。水痘が治った後、再度このウイルスが増えて、皮膚や神経を攻撃してくるのが帯状疱疹です。

◎症状
- どこにでも生じる。
- 水痘にかかっていると年齢に関係なくでるが、50歳以上に多い。
- 片側に神経に沿ってでる。（まれに重症化すると、全身に水痘のようにでる。）
- 水疱・紅斑・丘疹がでて、痛み・かゆみもある。
- 皮疹が出る前に痛み・かゆみがでることが多い。
- 皮疹がでると4-7日目まで増加する。
- その後、かさぶたになり徐々に治っていく。痛みも徐々に軽快する。
- まれにほとんど皮疹がでず、痛みだけのことがある。
- 顔面にでると視力障害・顔面神経麻痺を生じることがある。
- 痛みが慢性的に続く『帯状疱疹後神経痛』となることがある。

◎治療
- できるだけ早く抗ウイルス剤の内服と皮膚保護の外用剤が基本。早く治療することで『帯状疱疹後神経痛』への移行の確率を下げることができる。
- 痛みが強ければ鎮痛剤併用する。

◎その他
- 帯状疱疹は人にうつるか？
  水痘にかかったことがない人に水痘として感染させることがある。
- 帯状疱疹の予防は可能か？
  ワクチン接種により発症率が51.3%減少し、重症化は61.1%減少したと報告。ワクチンは50歳以上の人に対して接種可能。（自費）
- 『つづらご』は主に東北地方で使われる方言。



■問合せ先
総合戦略課
企画調整係
TEL　74－2122

アパート入居者募集

●名　称：**浜ハイツ 2号**
（木造２階建・２階部分２ＬＤＫ）11坪



●所在地：深浦字浜町285-1（円覚寺付近）
【冷暖房エアコン・乾燥機付き浴室・ストーブ各室】
●家　賃：月 40,000円
○その他、詳細についてはお問い合せください。

■問合せ先　**宮本アパート**　代表　宮本　京子
TEL **0173-74-3117**　携帯 **080-5554-5559**

たけくま動物病院
TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL

秋田県能代市藤山114番地
TEL 0185−89−2666
http://www.takekuma-vet.com/
たけくま動物病院　検索

◎診療時間

		月	火	水	木	金	土	日・祝日
午前	9:00〜12:00	○	○	休診	○	○	○	10:00〜12:00
午後	3:00〜6:00	○	○	1:30〜5:00	○	○	3:00〜5:00	1:00〜3:00

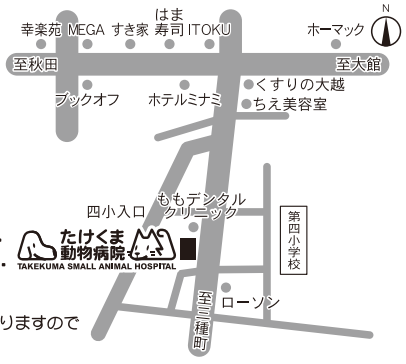
受付時間は終了の30分前までです

「思いやりの心」と「明るく誠実に接する」動物病院を目指しています。
狂犬病予防注射は病院で随時接種できます。

入院施設有
往診快諾

■ペットホテル有
■避妊・去勢手術随時受付
■狂犬病・フィラリア・混合ワクチン予防実施
■各種検査、健康診断（血液・レントゲン・超音波・内視鏡・心電図等）

◆診療時間が変更になる場合がありますので電話等で確認してください



深校だより

2年次修学旅行 in 関西

12月1日(土)～4日(火)、2年次生17人が、3泊4日の日程で関西方面に修学旅行に行ってきました。



初日は、まず飛行機で大阪まで移動し、その後京都へ向けてのバスに乗り換え、金閣寺、三十三間堂、そして清水寺を見学しました。どの観光名所でも数多くの観光客がおり、歴史の授業で学んだ歴史的建造物の素晴らしさを体感することができました。

2日目は最初の山場である京都での自主研修です。全グループが伏見稲荷大社を行程に入れており、その人気ぶりがうかがえました。道に迷ったり足が痛くなるまでひたすら歩いたり、電車やバスを駆使し、グループ全員で協力し目的地を目指しました。伏見稲荷大社の千本鳥居には非常に感動したようで、ほぼ全員が印象に残ったと口にしていました。

3日目は、待ちに待ったUSJです。午前中は大阪海遊館を見学し、小雨の中USJへ向け出発しました。ハリーポッターに扮する生徒や、キャラクターの帽子を被ってアトラクションを楽しむ生徒、大好きなキャラクターと写真を撮る生徒など、それぞれが思い切り楽しむことができ、心配された雨もお昼頃には完全に止み、修学旅行最高の思い出を作ることができました。

最終日は奈良に移動し、全員で薬師寺、奈良公園を見学しました。薬師寺では、お坊さんから巧みな話術で「挨拶と感謝」について、笑いのあるとても心に残る話をしていただきました。奈良公園では、おなじみの鹿と集合写真を撮影し、南大門の仁王像や、金堂の大仏、春日大社を見学しました。

3日目は多少雨が降りましたが、ほぼ全日程で好天に恵まれ、移動でも大きなトラブルはなく、全行程を終えることができました。生徒全員がケガや病気をすることなく、無事に帰ってくることができ、実りある修学旅行になりました。

【1・2月の主な行事予定】

1月11日(金) 3学期始業式
17日(木) 百人一首大会
23日(水) 第3回防災教室
25日(金) 第3回実用英語技能検定
25日(金)～30日(水) 3年次3学期期末考査
2月3日(日) 商業経済検定
12日(火)～15日(金) 1・2年次3学期期末考査

校閲ガールのおいしい時間 Delicious time

第9回



このコーナーは、女性広報記者が気になっているグルメを美味しく可愛く紹介していくコーナーです。

私が今回訪れたのは、役場のすぐそばにある「食べ物屋セイリング」さんの「深浦マグロと日本海深浦サーモン丼ふかうら雪人参ビーフシチューセット」です。このメニューは、「深浦づくし」といっても過言ではありません。

まず運ばれてきたのは、セットで付けたふかうら雪人参を使ったセイリングオリジナルのビーフシチュー。口に入れた瞬間ほろっと崩れ、牛肉の肉汁とほのかに甘いふかうら雪人参がとてもマッチしていました。

次に運ばれてきたのが、深浦マグロと日本海深浦サーモン丼のお膳仕立てです。

メインの丼ぶりには、深浦マグロと日本海深浦サーモンがぎっしり並べられていました。まず深浦マグロを一口。サッパリとしていて、いくらでも食べることができます。また、日本海深浦サーモンは、深浦マグロより更に脂がのって甘みがあり、とても濃厚なサーモンでした。

小鉢にはつるつるわかめ、マグロの皮、マグロの胃袋、イカの塩辛、あとはその日によって仕入れた食材を使った日替わりメニューとなります。マグロの皮は、食べると不思議な食感で脂がのったおいしい部位でした。マグロの胃袋はコリコリした食感で臭みもなく、皆さんに一度は食べてほしいメニューでした。このマグロの皮と胃袋は、セイリングさんでしか提供していないようですので、ぜひ食べてみてください。

マグロ、サーモン、ふかうら雪人参、つるつるわかめ、イカ。深浦の食材が見事に集結した「深浦づくし」をぜひ堪能してみてはいかがですか。

美味しい時間をありがとうございました♪



●深浦マグロと日本海深浦サーモン丼
ふかうら雪人参ビーフシチューセット
￥2,350

◆店舗情報
食べ物屋セイリング
(深浦字苗代沢78-34)
TEL：74-3068
営業時間：11時～20時
定休日：不定休

町民文芸 川柳

失恋の痛手なおしに髪洗う　乳井　光昭
快報が届き一気に開花する　後藤　信柳
遠い日の腰のおにぎり母の温　浜町　閏歩
ここ一番親父ゆずりの二枚腰　蒲田　磨砂
父の血が男の道を行けと言う　池田　郷太郎
洗っても落ちない過去を懺悔する　佐藤　豊
遺産分け誰も絡んでこない理由　吉田　吹喜
退屈が怖くて枯葉吹き溜まる　草野　力丸
ふぶかれて吹雪かれてなお津軽春を抱く　山野　茶花子
新元号災いすべて消す願い　佐々木かもめ

編・集・後・記

あけましておめでとうございます。今年のお正月はみなさんいかがお過ごしでしたでしょうか。

昨年から徐々に体重が増えてきており、年末年始でもかなりぐ～たらな生活をしてきました。クリスマス・大晦日・正月とイベントが盛りだくさん…そのそばには必ず美味しい料理があったので、見事に誘惑に負けました。

今年は生活習慣を改善して、体を引き締めたいと思います。何かいい方法があれば教えてください。

今年も、どうぞよろしくお願いいたします。

戸籍の窓

11月21日～12月20日までの戸籍届出

お誕生日おめでとう

川村朱里（じゅり）（真兵理恵）　大間越

ご結婚おめでとう

竹越貫（7区）
奥寺裕子（青森市）

鎌田裕哉（岩崎上）
浅野佳美（岩崎上）



おくやみ申し上げます

吉田正（66）　鳳木
吉田つわ（93）　鳳木
村山キミヨ（97）　風合瀬
根上よきゑ（88）　北金2区
根上邦武（81）　北金3区
岩谷郁雄（82）　岩坂



深浦町の人口と世帯

《12月末日現在》（　）内は前月比

男……3,872人（－7）
女……4,356人（－7）
計……8,228人（－14）
世帯数　3,749世帯（－6）

深浦町の総面積　488.90㎢

ちびっこチャンピオン

「あけましておめでとう」

きらら保育園のなかよしたち



（左から）
なかむら　あゆる　くん（6さい）
にしまき　り　　ん　さん（6さい）
じんば　れいと　くん（6さい）
せいしゅうや　りあ　さん（6さい）

このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。

深浦町の花

福寿草

深浦町の木

橅

深浦町の鳥

カモメ

こんなに元気です！

★このコーナーでは、１歳を迎えたチビッコ達をご紹介します



世永　咲羽（さわ）ちゃん
（父 翼さん 母 沙希さん）
風合瀬

＊寄附者の紹介＊

（12月25日まで入金分）

ふるさと納税制度等を利用したご寄附を次の方からいただきました。

○東京都中野区　青山　高之　様
○静岡県横浜市　高力　美智子　様
○静岡県牧之原市　阿部　雅則　様
○神奈川県横浜市　高木　学　様
○埼玉県さいたま市　飯野　詩織　様
○静岡県平塚市　高野　聡子　様
○東京都国立市　井澤　正彦　様
○静岡県富士市　竹部　幸雄　様
○青森県弘前市　石田　秀秋　様
○徳島県石井町　田中　尚治　様
○愛知県豊橋市　猪塚　隆介　様
○熊本県八代市　手水　保　様
○茨城県常総市　伊藤　金一　様
○千葉県浦安市　寺山　恵　様
○奈良県広陵町　上田　文雄　様
○神奈川県横浜市　徳永　武継　様
○静岡県長泉町　井山　健次　様
○東京都調布市　富田　光　様
○群馬県高崎市　遠藤　史隆　様
○埼玉県さいたま市　中尾　展子　様
○和歌山県新宮市　中谷　友哉　様
○東京都三鷹市　中林　正晴　様
○埼玉県加須市　兼平　百合子　様
○埼玉県久喜市　那須　朋美　様
○静岡県裾野市　成田　修一　様
○埼玉県さいたま市　難波　正和　様
○東京都港区　根岸　真理　様
○東京都八王子市　能登　佳奈子　様
○東京都世田谷区　長谷川　主一　様
○千葉県浦安市　馬場　信明　様
○東京都練馬区　林　敏春　様
○神奈川県横浜市　原田　研三　様
○千葉県習志野市　平野　尚久　様
○青森県弘前市　藤田　雅巳　様
○神奈川県横浜市　松岡　佑紀　様
○東京都町田市　三浦　祐子　様
○東京都江戸川区　道向　新　様
○北海道札幌市　宮崎　貴雄　様
○青森県弘前市　宮崎　充治　様
○沖縄県那覇市　宮良　郁　様
○東京都八王子市　三好　明子　様
○青森県弘前市　村山　雄次　様
○東京都江戸川区　森本　直樹　様
○神奈川県横浜市　矢口　博文　様
○東京都練馬区　山内　友和　様
○東京都新宿区　山崎　良浩　様
○東京都東久留米市　山本　正夫　様
○東京都世田谷区　吉川　めぐみ　様
○神奈川県川崎市　吉田　俊幸　様
○大阪府吹田市　渡辺　綾子　様
○京都府宇治市　渡辺　憲志　様
○千葉県千葉市　渡辺　紀子　様
○東京都千代田区　西つがる風力発電㈱　様

ありがとうございました。

発行／青森県深浦町　編集／総合戦略課企画調整係
☎0173-74-2111（代表）

ホームページアドレス http://www.town.fukaura.lg.jp/